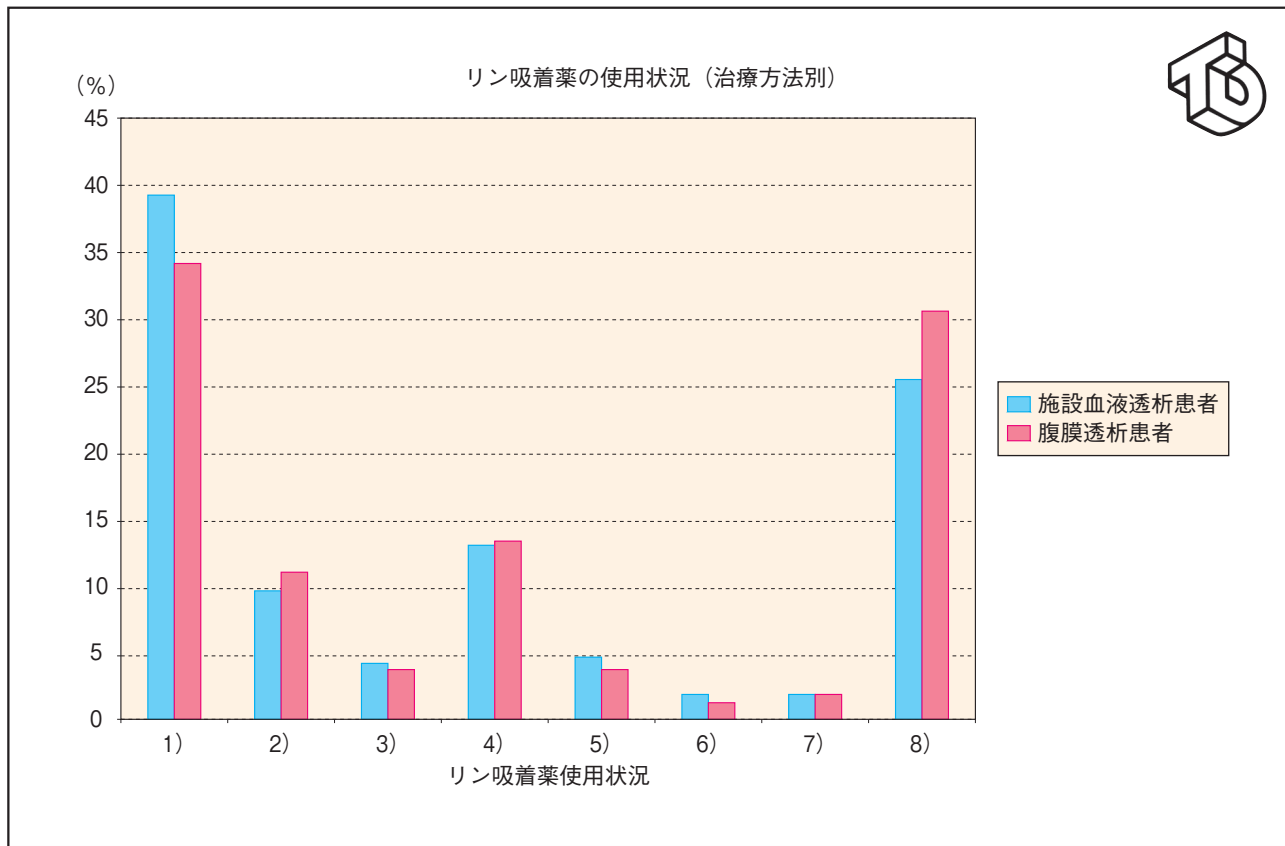


3) CKD-MBD 関連

(4) リン吸着薬の使用状況（治療方法別）（図表40）



リン吸着薬使用状況	炭酸カルシウム	塩酸セベラマー	炭酸ランタン
1)：炭カルのみ	○	×	×
2)：セベラマーのみ	×	○	×
3)：ランタンのみ	×	×	○
4)：炭カル+セベラ	○	○	×
5)：炭カル+ランタン	○	×	○
6)：セベラ+ランタン	×	○	○
7)：三剤併用	○	○	○
8)：使用なし	×	×	×

○：使用あり、×：使用なし

抽出条件	施設血液透析患者	割合 (%)	腹膜透析患者	割合 (%)
1)：炭カルのみ	81,550	(39.2)	2,063	(34.2)
2)：セベラマーのみ	20,024	(9.6)	664	(11.0)
3)：ランタンのみ	8,728	(4.2)	231	(3.8)
4)：炭カル+セベラ	27,266	(13.1)	805	(13.3)
5)：炭カル+ランタン	9,695	(4.7)	230	(3.8)
6)：セベラ+ランタン	3,918	(1.9)	82	(1.4)
7)：三剤併用	4,033	(1.9)	116	(1.9)
8)：使用なし	52,814	(25.4)	1,841	(30.5)
治療方法別患者数	208,028	(100.0)	6,032	(100.0)

※割合とは、治療方法別患者数に対する割合

患者調査による集計

解説

リン吸着薬の中では炭酸カルシウムの使用頻度がもっとも多かった。炭酸カルシウムの使用頻度は施設血液透析患者の方が腹膜透析患者に比べ高かった。炭酸カルシウム・塩酸セベラマー・炭酸ランタンのいずれかのリン吸着薬単独療法が行われている患者は、施設血液透析患者で53.0%、腹膜透析患者で49.0%であった。3剤の併用が行われている患者は、いずれも1.9%であった。3剤のいずれも使用されていない患者は、施設血液透析患者では25.4%で腹膜透析患者では30.5%であった。